

必要な人

堂本学

内容

必要な人	1
小学生の時から勉強をする必要性とは？勉強はなぜするの？勉強の意味.....	4
勉強をする理由に疑問を持つ子供に刺さる言葉勉強は何のためにしているのか？	4
勉強は何のためにしているのか？	4
勉強は自分の成長のためにする！	5
まとめ	5
著者：清水さん	7

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

小学生の時から勉強をする必要性とは？勉強はなぜするの？勉強の意味

小学生の子供に「勉強ってどうしてしなくて位はいけないの？」と、質問されると上手く答えることができますか？

「とにかく勉強をしろ！」と言って逆切れをしているようでは、親失格と言ってもいいでしょう。一般的に「将来のため」というケースも多いですが、子供に勉強をする意味を伝えるときに、大人が気を付けるべきポイントがあります。

勉強をする意味に疑問を持つ子供はどのような大人になりやすいのかや、子供に勉強をする意味を伝える場合のポイントをお伝えします。

勉強をする理由に疑問を持つ子供に刺さる言葉勉強は何のためにしているのか？

筆者なりの意見勉強とは「頭の使い方が勉強になる」勉強は自分の成長のためにする！

勉強をする理由に疑問を持つ子供に刺さる言葉結論を言えば、「学校にどうしていかなければいけないのか」「どうして、勉強をしないとダメなのか」という疑問を持つ子供は意外に多いです。

何事も当たり前のようにこなす人に対して、筆者も「どうして？」と思うのです。

一般的に、どうして勉強をしないといけないのかという質問に対して、以下のような返答をする人は非常に多いです。

「今、勉強しておけば、いずれ役に立つから」「受験してそれなりの学校に行けば、将来の選択肢が増えるから」「このような勉強は今しかできないものだから」以上のような返答のやり方は、正しいと言えます。

しかし、いずれの返答も「将来に向けて今やったほうが良い」という、漠然とした未来に対して今を繋げている内容となっているのです。これでは、言われた子供は理解できませんし、さらに「どうして？」となるのです。「何のための勉強なの？」という質問に対しては、誰も軽々しく答えることができませんし難しい問題だと思えます。

勉強はみんながしているから、当たり前のようにやっていた人もいるでしょう。

逆に言えば、何の疑問も持たずに勉強をする子供は、本当にまじめな子供なのでしょう。

しかし、勉強をする意味に疑問を感じる事こそ、大切にすべきなのです。勉強をすることに疑問を持つ子供は、とても重要と言えますね。

勉強は何のためにしているのか？

筆者なりの意見勉強は何のためにしているのか、筆者なりの意見をまとめていきます。

目先だけを見た目的としては、中学生なら「志望している〇〇高校に合格するため」が、正しいかもしれません。

しかし、「〇〇高校に合格した後の先はどうする？」と聞かれたら、「〇〇大学に合格するため」と返答する人は多いかも。

さらに、「その先はどうするの？」と聞かれると、「〇〇会社という大企業に就職する」となるでしょう。こういうやり取りは、漠然的であり「勉強をする意味」を問いている子供の

心には、全く響かないのです。

勉強とは「頭の使い方が勉強になる」筆者なりの意見と言わせていただければ、勉強とは「頭の使い方が勉強になる」ということです。このように言われると、あなたは「は？」ってなるかもしれませんね(笑)たとえば、数学の因数分解で複雑な形をした式が、いくつかの要素に分解して成り立っていますよね。

世の中の複雑な現象はいくつかの問題に分解できるし、そのかけ合わせで起こっているという感じで応用ができるのです。

ほかにも、理科の実験の場合は「多分こうだろう」という仮説を立てて、自分の考えが本当かどうかを実験して試すという順序になります。こうした考えも社会に出て働くようになれば、当たり前のようにやることです。

たとえば、「〇〇が取れない、こうすれば〇〇は取れるかも」みたいな、実験的な事を職場ですることも多いです。理科はただの暗記科目だと思って勉強をしていると、確かに役には立ちません。

ですが、別の視点で考えてみると、学校で勉強をする内容は無駄がないということが分かります。

勉強は自分の成長のためにする！

勉強は自分の成長のために、していることが多いです。なので、「他の子は〇〇だから」という感じで、自分と比較するのではなく、1か月前の自分と比べて、どれくらい成長できたのかが重要です。

子供の成績とほかの子の成績を比べる親御さんもいますが、子供によっても能力が違いますし勉強をしている環境も違います。なので、他の子供と自分の子を比べること自体、間違っていると言っても良いでしょう。

勉強をして自分が行きたい高校に合格できなくても、過去の自分よりは成長していることは多いです。努力を続けてきて目標まで届いていなくても、高校ではさらに伸びていくと言えます。

ただ、途中で諦めると、それが癖になってしまうでしょう。そうなると、何らかの言い訳を作り出して、辛いことや出来ないことから逃げようとする人間になってしまいます。

つまり、勉強というのは忍耐力や努力をしたり、自分で解決策を見つけようとする力も、養うことができるということです。

コツコツと努力をし続ける人こそ、最終的に成長できる人間になり自分のやりたいことを、成し遂げられるようになっていくのでしょう。

まとめ

勉強をする意味というのは、一般論だけでは子供に理解をしてもらえないことがあります。そういう場合は「将来的に役立つ」という風に言うのではなく、勉強がどういう風に役立つのかを具体的な説明が必要になるのです。本記事では、勉強をする意味について、深堀をし

ていきました。子供から「どうして勉強をしないといけないの？」と聞かれたときに、本記事を参考にしていただけると幸いです。

著者：堂本学

好き嫌いの激しい性格ですが、実は温厚。仕事柄いろんな人と関わることがあるので人間観察が一番の趣味。将来の夢は田舎でスローライフを送ること！！